

町民1人ひとりが輝き、安心して暮らせる町づくりを その先頭に立って奮闘する日本共産党の議員

村端 池田町に新しく移住された方も増えていて、ます簡単に自己紹介ので、お願いします。

服部 早いもので、来年には2期8年が終わることになります。これまでの実績をさらに先にすすめるために3期目の立候補を決意しました。皆さまのいつぞうのご支援をよろしくお願ひいたします。

私は、関西の生まれで、1976年に松本に移住し、旧梓川村を経て、池田町に引っ越しました。池田に住んでから、かれこれ21年になります。



3期目に挑む 服部久子さん

元で染織の仕事に就き、現在に至っています。	村端 これまで学童保育運動や学校給食など、教育・子育ての分野でいろいろご活躍されてきましたね。
服部 松本では学童保育設立のために、子育て中の方々と活動してこれを実現しました。また、「子ども劇場」に入り、子どもと生の舞台を鑑賞する活動や、野外活動をしてきました。	池田町に移つてから、知人の子どもさんが複数の少年から暴力を受け、死亡する事件が起きました。この

服部 2期の議員活動の中で、子育て支援や教育、生活支援に関する要求を重点的に取り上げてきました。皆さんもご存じだと思いますが、国は「行政の効率化」をねらつて「道州制」や「行政の広域化」を進めようとしています。そうなれば、住民と行政の距離が広がり、ますますきめ細かい施策はできなくなります。とくに、子育て世帯や高齢者、低所得者の生活は切捨てられることになりかねません。町行政の仕事は、何と言つても住民が安心して暮らせるようになります。きめ細かな施策を行

村端 3期目ではどのような点に力を入れて議員活動をしていきたいと考えいらっしゃいますか。

相違が生じても「住民の福祉を守る」ことを最優先に置くことです。議会は、町の施策や姿勢をしっかりとチェックし、同時に町民に役に立つ施策を積極的に提案して行かなければなりません。

私は、これからも皆さんとともに、町民の声を行政に反映させるよう奮闘してまいります。これまで以上のご支援を重ねてお願い申し上げます。

日本共産党池田支部 来春の町議会議員選挙 予定候補を発表

立候補表明の直後に
はホームページを作つたり、
町政アンケートをまとめて
それらの要求実現のために
頑張つていらつしやいますね。
薄井　ホームページは習い
たてでお恥ずかしい(※)。
アンケートは「少しでも要
求の前進になれば」との思
いでやっています。



初議席に挑戦 薄井孝彦さん

薄井　私は松本で生まれ、すぐに池田に移り住み、中学校卒業まで池田で暮しました。大学（東北大・農学部）では水産の勉強をし、科学的・社会主義の理論も学び、「平和で働く人が報われる世の中にしたい」との思いから日本共産党に入りました。

なさんに訴えたいことはどんなことでしようか。その要点をお聞かせください。

現の仕組みを定めた「町づくり条例（自治基本条例）」の制定にむけ、皆さんとともに力を尽くそうと決意しています。

が生き生きと活動する「町にしたい。そのためには、町民の皆さんと力を合せて頑張ります。ご支援よろしくお願ひ致します。

立候補予定者に聞く

聞吉平 一九三六年三月廿日

や飼料研究などに取り組みました。

も大企業(財界)の利益を優先させた政治にあることははつきりしています。町への

発性に基づく町づくり」を進めるため、町は住民参加で英知を出し合い、指導的役